

補助率が100%以下で、
あつて、良くて3分の2、
悪くすると3分の1以下。
しかし、考えようによ
つて、これでも悪くはな
い。補助率30%の低率
であつても、定価の3
0%引きで橋やトンネル
がでられるのである。割
安売り販売でも3割引は
稀であり、まして補助率
3分の2は定価の6割は
分引でない安売りだ。か
減多になく安売りだ。か
く長は、多く自治体の
首長は、「ハイハイ」と大
きな声で、「ハイハイ」と
になる。ここで上げると
イ商法。と酷似したとこ
ろだ。ところが、こうして

たマスのネットロンのよう
黄金の締め付けられずに
ら、不良債権による赤字
きた不良債権による赤字
債権団体である。赤字
は、他でもない。政治
の年2007年「を前に
して、競争の公共事業の
利権争いの胡散臭い
が、権争いの満ち始
ら、ある。片や補助率の
高い廉価な買物をした
「功績」を誇れば、他
自分ならもつと安く買
力がある。これに自信を
示す。公共事業関連業
群がる。何時ものように
始まる。お決まりのよう
に更なる財政破綻への道
をひた走る。この赤字の
をひた走る。この赤字の
付け息子の孫に付けよ
う。という息子の孫に
張市を見ればよく分か
る。もうここらで目を覚
そう。何が必要で何が
要々ないか。川面に
家々の門前から橋が
と、少しまだ橋が
ある。そのまわり道
する。生活習慣病から
これ、生活習慣病から
れ、自治体の国民健康
し、政治の健全化にも
できる。公共事業体質
に、少し足りないこと
で、平和と環境と経済
寄与している。誇れる
「催眠療法」を受診して
てはどうか。う。